

令和2年度亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会 会議録（概要版）
（第2回会議）

1. 日時

令和2年11月5日（木） 13:30～15:30

2. 場所

亀岡市役所 別館3階 会議室

3. 会議次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - (1) 亀岡市いきいき長寿プラン（第8期）素案について
 - (2) 第8期介護保険サービスの見込み量について
 - (3) その他
- 3 閉会

4. 配布資料

- ・資料 亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第8期亀岡市介護保険事業計画）素案
- ・当日資料1 亀岡市介護保険サービスの見込み量（第8期）
- ・当日資料2 中部地域包括支援センターの再配置について

5. 出席者（敬称略）

- ・松田 美智子【会長】 天理大学
- ・吉中 康子 京都先端科学大学
- ・飯野 茂【副会長】 亀岡市医師会
- ・天野 浩 亀岡市歯科医師会
- ・山口 徳人 亀岡市薬剤師会
- ・永田 一夫 社会福祉法人 亀岡市社会福祉協議会
- ・中川 國彦 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・大西 利幸 公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター
- ・細川 景子 社会福祉法人 利生会
- ・前渕 功 社会福祉法人 友愛会
- ・西村 隆美 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・林 昭 亀岡市老人クラブ連合会
- ・小林 仁 亀岡市自治会連合会
- ・谷奥 正憲 市民代表

- ・ 仲 奈々子 市民代表
- ・ 四方 啓子 京都府南丹広域振興局

<事務局>

- ・ 亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

6. 主な協議内容

(事務局)【開会】

【開会挨拶】

(事務局)

- ・ 欠席なしのお知らせ

協議事項(1) 亀岡市いきいき長寿プラン(第8期) 素案について

(事務局資料説明) 資料

【質疑応答等】

(委員)

- ・ 昨年度のアンケートで自分は健康であるという回答が8割くらいと高かったと思いますが、数値目標を作って計画に落とし込んでいく予定でしょうか。

(事務局)

- ・ これから後期高齢者が増加していきますが、この数字を出来るだけ維持出来るような施策を展開させるという方向で本文にも記載させていただきたいと考えております。

(委員)

- ・ 認知症の方をサポートする体制や対策をもう少し具体的に教えて下さい。

(事務局)

- ・ サポーター養成講座や市民の方に認知症の方のことを知っていただく講座などを実施しております。その他、認知症の家族の集いや困りごと相談を聞く場として認知症カフェをしております。企業などに呼びかけながら認知症サポーターになっていただける体制づくりも強化していきたいと考えているところです。

(委員)

- ・ いろいろな問題はあるでしょうがどのエリアに認知症の方がどれくらいいらっしゃるか把握して、市民の皆さんである程度共有出来るようなかたちで、その方々をサポートするという体制づくりを広報も含めてしっかりと対応していく必要があるのではないかという感じがします。

(委員)

- ・ 亀岡市のいきいき長寿プランを見ると非常にながらばって介護予防なども進んでいると思うのですが、元気にしている高齢者をスポーツの場にもっと引き出すといった他との連携が足りないのかなという気がします。

(委員)

- ・ 友の会で9月から体操を何人かで始めましたが、健康増進課からお声がかかって12月、1月、2月に月1回ですがフレイル予防の健康法を予定しています。保健師さん、管理栄養士さん、歯科衛生士さんに来ていただいて、元気な老後を過ごしていただきたいというかたちにもっていきたいと思っています。

(委員)

- ・ 家族からは免許証を自主返納して欲しいと言われるけれど、そうすると活動の場が狭まってしまって、介護予防の観点からそれがいいことかどうかということがいつも話題になります。59 ページに自主返納を促しと書かれていますが、この点について目安があるのであればお聞き出来るかと活動する上で参考にしやすい面もあるのでありがたいです。

(事務局)

- ・ 亀岡市では70歳以上の方を対象に敬老乗車券を販売しております。これはバス交通に加えてタクシーもご利用いただける少し割安な券となっておりますので、ご活用なりお勧めいただけたらと思います。
- ・ 自主返納事業につきましては、担当課が別になりますが、警察に自主返納していただければ市からタクシーチケットやバス券の配布をさせていただきます。また、70歳に満たなくても自主返納された方には敬老乗車券をご購入していただけるようにしております。
- ・ 地域の特性に応じた対応や、通いの場を整備していくというのが今回の介護保険事業計画の主な内容でもあります。出来るだけ地域の人との支え合いの場を作って、いろいろな公共施策との組み合わせも考えながら地域の方が長く家で生活を楽しく過ごしていただけるよう今後、引き続き考えていかないといけないと思っています。

(委員)

- ・ ロボットやICTの導入の支援や資格取得や就職支援のための貸し付けや補助事業を推進するという事で大変心強いことを言っていただいて感謝申し上げます。
- ・ ハードはそれなりに整っていると思いますが、サービスを提供する担い手のソフト部分は決して十分ではないと思いますし、さらに言うならば介護職の質の向上というところまではなかなかいきません。それなりの余裕がなければなかなか至らないと思っていますので、ロボットやICTの導入をしていただくことでかなり有利になったと思っています。
- ・ 人材確保のために今よく外国人の人材ということがありますが、やはり外国の方はそれなりの費用がかかります。さらにはその方々を支えるための体制づくりや生活いただくためのハ

ード作りまで考えると決して安価なものではないと思っていますので、何らかの支援があれば有り難いと思っております。

- ・ 亀岡の特性を活かしてということですので、最近空き家が多くなっていますので、田舎暮らしをぜひしたいと思っておられる方に都会からやってきてぜひ市内の介護事業所等で就労していただきたいという思いをずっと持っています。田舎暮らしの誘致をされている部署とタイアップして、人材の確保につなげていけるような庁内の横のつながりで施策を充実していただけたらありがたいと思っています。

(事務局)

- ・ 本市でも、空き家対策を実施していますが、コロナ禍の影響もあってニーズがあると聞いていますので、そういったことが就労につながるようなかたちになればいいと思っております。関係課とも連携しながら高齢福祉課としてもいろいろな情報を発信しながら施策を展開していきたいと思っています。
- ・ 補足としては資格取得に関しては来年以降、事業者と相談しながら検討していきたいと思っています。

(委員)

- ・ 環境を整えて各地域の中に通いの場が出来る方向性にあるということですが、やはり人の問題が一番大きいと思います。元気な高齢者がちょっと居宅の人を見るというシステムができるような地域住民を育てていく、地域資源を活用していくということを進めていかれたらいいかと思います。

(事務局)

- ・ 本市では平成 23 年から地域の住民の方に介護予防のサポーターになっていただくということで現在 400 名程度育成しています。本年度も 11 月 1 日から募集をかけて、それぞれ 30 名程度育成していきたいと思っています。その中から市民グループが中心になった NPO が立ち上がったたり、またボランティアで教える側の自主グループが発生したりということがあります。市内に 113 カ所程度通いの場がありますが、自主的な体操活動や、そういった場所で教えていきたいというかたちでの場は発生しています。これをもう少し普遍化させたかたちで広げていけるように次年度取り組んでいきたいと思っています。

(会長)

- ・ 本当に有意義なご意見をたくさん頂戴しまして有り難く思います。このプランが最終的に目指す地域共生社会を作り上げていくという部分においては、皆さんから本日頂戴しましたいろいろな連携もぜひ事務局の方で関係部署にお伝えいただけたらと思います。
- ・ 人の社会資源を活用していくという点とともに、サポートしていかないと今後、応えることが出来なくなるという点と、共助のシステムもというご意見も頂戴したのですが、亀岡市でもご尽力いただいていると思います。ぜひ最終案に盛り込んで、様々なかたちの互助のシス

テムを出されるようなプランに仕上げていただければと思います。

協議事項（２）第８期介護保険サービスの見込み量について

（事務局資料説明）当日資料 1

【質疑応答等】

（会長）

- 例えば第7期で実現出来なかったサービスを第8期では見込んでいるという説明がありますが、サービスの種別に数字だけで説明されても意味がよく分からないという方がおられると思います。後半の部分は文章でこういうことを根拠にして第8期の見込み額を策定していますということを資料に付けていただけると分かりやすいと思います。

（委員）

- 例えば訪問リハビリは平成30年度に662.5回で令和元年度には538.2回だったのが見込みとはいえ順当に増えていくとは限らないような感じがするのですが、数字の動きについて例えばここでサービスの基準が変わったなど理由があるのなら説明してもらえると嬉しいです。

（事務局）

- 被保険者数などは人口推計に基づき、今の認定率などで介護度別の認定者などをシステムの中で計算して、認定者数が出たらそれに過去の利用率の伸びを掛け合わせていくという推計を行っています。

（会長）

- 3枚目を見ていると令和17年度の計画値がいわゆる高齢化への対応で需要がたくさん見込まれるピークと考え、人口比から考えていくと令和17年度には上がって令和22年度になると高齢化率は高いかもしれないけれど高齢者の実数が下がっていくので、この数字は上がったりがったりという理解でよろしいでしょうか。

（事務局）

- その通りになります。

（委員）

- 積み上げ式で数字は出ているが、逆の発想で90億に抑えるためにどうしたらいいかという目標数値を立ててから計算をやるのも1つの方法ではないかと思います。

（会長）

- 健康寿命を伸ばさせて介護予防を充実したら実際の数値よりは執行される金額は少なくなるかもしれないというご意見ということでよろしいでしょうか。

(委員)

- 例えば介護認定の取得にしても出来るだけがんばっていただくというかたちにするなどしないと積み上げ方式だからいくらでも膨らんでいきます。難しい話だけれど、目標を定めてそれに合わせるために何をするかという方法もあるのではないのでしょうか。

(事務局)

- 介護認定に係るものについては基本的に介護サービスを拒否するということが出来ないので、給付抑制につながるようなことは目標としては設定しづらいところですが、元気な方がいつまでも元気でいていただけるようにというのを、今回は重点的な目標にしていきたいと思っています。
- 今回の数字については全国的に同じシステムで介護サービスの見込量を提出する様式を活用して資料とさせていただいておりますので、大変見にくいもので申し訳ございません。もう少し端的に資料として配らせていただければ良かったとは思いますが、今後検討させていただきたいと思っています。
- 3年間の計画期間中に必要な保険料を算定する資料ということで、今回については介護給付費準備基金を出来る限り活用させていただき、保険料は出来るだけ抑える方向で検討していきたいと思っています。

(委員)

- 城陽市には、正道官衙遺跡公園という公園のそばに老人施設や保育園があって交通事故を心配せず、毎日、公園に行けます。そういう高齢者に優しい環境づくりを進めてそちらにお金をかけた方がいいのではないかと思います。

(会長)

- 地域福祉計画に反映されるように提案いただければと思います。

(委員)

- 表の中で短期入所療養介護や地域密着型特定施設入居者生活介護に「0」が並んでいるところは亀岡市では全く必要なく、見込みが全くないということなのではないのでしょうか。

(事務局)

- 「0」が並んでいるところにつきましては亀岡市にサービスを提供する事業所がないところとサービスとしてなくなる場所があります。フォームとして全国統一で、すべてのサービスが挙がっているので、「0」が並んでしまっています。また、亀岡市の被保険者が使っていないサービスは「0」になっています。

協議事項（3）その他

（事務局資料説明） 当日資料 2

【質疑応答等】

（委員）

- ・ 中部圏域を担当する地域包括支援センターがつつじヶ丘に所在するとなると、実際に行くことはないからあまり関係ないと言っても高齢者の気持ちとしてはどうして遠いところにあるのかと不安を感じる部分があるので、また中部圏域内にセンターを置いていただけるということは非常にありがたいことだと思います。
- ・ このようなことがあまり起きるのは市民の不安につながり、あまり良くないと思います。原因や今の段階で分かっている改善点、改善案があれば教えていただけるとありがたいと思います。

（事務局）

- ・ まず、つつじヶ丘地域包括支援センターが中部圏域を担当するというのは令和2年度に限った対応です。令和元年12月過ぎに、中部地域包括支援センターの運営が困難という話が入って来たので募集調整が全く出来ず、残った法人の中で調整させていただきました。令和3年以降は別法人になりますが単独で立ち上げるかたちを検討しております。
- ・ 理由については法人の人員不足により特養やショート線の運営が出来ない状況が中長期続いています。地域包括支援センターの運営はどちらかというと赤字になってしまいます。資料2に委託事業と指定介護予防支援事業について書いてありますが、明確に分かれているわけではなくて真ん中が点線になっているのは委託事業の方にもやっていただくことがあるということです。そうすると実際に1件4,500円くらいのプラン収入なので、通常の介護保険であれば1万円を超えるのを半額以下でやるということになり、やればやるほど赤字になります。法人としても他部門で赤字が出る上にさらに赤字を重ねていくのは難しく、これ以上続けられないという返答がありました。
- ・ このように原因も分かっていますので、第8期に向けて赤字を一定解消するため、委託料を増額することを検討しています。また、人員不足につきましては資格取得やサポートで対応していこうと考えています。

（会長）

- ・ コロナ禍でがんばっている医療現場の人たちががんばればがんばるほど赤字になって大変なことになっていくのと似たような構造的な問題があるということですね。

（事務局）

- ・ 中部包括の設置に関する話の中で基幹型センターの話をさせていただきましたが、高齢者は増えていきますが全体の人口は減っていく中で、地域包括支援センターを集約したり機能強化をしていく基幹型センターの設置が必要になってくると考えていております。
- ・ また第8期は7圏域7包括という体制で書いていますが、今後は機能強化を図る中で市の職

員が関わる基幹型センターを立ち上げて、こういった不測の事態に対応も含めて地域包括支援センターの後方支援をしていくことを検討していきたいと思います。地域包括支援センターと同時に基幹型センターも検討していくということで今回、プランに書かせていただいたということになっています。

(事務局)

- ・ 事務局から今後のいきいき長寿プラン推進協議会の予定について説明させていただきます。12月後半から1月半ばにかけて実施するパブリックコメントに提示する素案については今回議論いただいた内容等を反映させて、12月初めに完成させたいと考えております。委員の皆様には郵送させていただき、再度、全体の確認やご意見をいただきたいと考えております。いただいたご意見は、パブリックコメントの結果とともに計画に反映させていただきます。
- ・ 次回の会議は2月を予定させていただきたいと思っております。

(会長)

- ・ 本日は活発で有意義なご意見、ご議論を頂戴いたしましてありがとうございました。12月にご意見を反映させたパブリックコメントの素案がお手元に届くと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

- ・ 次回の日程について

(事務局)【閉会】

(15:30終了)